



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和7年4月30日

5月号

NO. 626

校長 大久保仁晶



子育て 悩み・楽しみ

桜を長く楽しんだ後は、新緑が濃くなった感じです。そして、新年度も気づけば1か月が過ぎ、待ちに待ったゴールデンウィークです。楽しむとともに、この1か月の疲れも回復してください。

子どもたちも新しい学年、クラスによりやく慣れてきたようです。22日からは1年生の給食も始まりました。6月7日（土）の運動会に向けて、早くも練習がスタートしています。また、4月に参観・懇談会を実施しました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。担任、保護者同士の顔合わせを早く行えたので、関係性も築いていきたいと思っています。



初日はハンバーグ、2日目はカレーライスでした。

今から300年以上前に江戸時代の儒学者である細井平洲さんが「教育」について次のように言っています。

『教育とは、菊好きの人間が菊を作るようにしてはならない。百姓が野菜や大根を作るようにすべきなのだ。』

なぜ、菊を作るようにしてはいけないのだろうか。それは、菊を育てる人というのは、自分の理想の形があって、それに合わないもの、欠点の目につくものを摘んでいってしまう。そして最後に二つか三つのつぼみを残し、そのうちの一つで大輪の菊を咲かせるのである。菊作りには素晴らしい方法であろう。でも、これを子育てにあてはめると「大きなマイナス」になると、さとしているのである。

一方、農民が野菜を作るとき、欠点のあるものを捨てるなどということはない。日陰に咲いたものも、うねで実をつけているものも、それぞれに（つまりそれぞれの条件ごとに）精いっぱい育ててほしいと、手をさしのべる。

教育とは、このように一人ひとりの条件がちがっても（相手に合った方法で）手をさしのべることがたいせつなわけである。

向山洋一『教え方のプロ・向山洋一全集⑫家庭教育の指針』（明治図書）

私も2人の子どもを育てていますが、子育てに正解はない、と模索する日々です。もしも、お子さんのことで気になることがあれば、担任や学校にご相談ください。ともに、成長を考えていきたいと思っています。また、学校以外にもSC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）、市の臨床心理士による巡回相談、こ家セン（こども家庭センター：旧家庭児童相談室）などの関係機関もあります。めざす児童像の「やさしく、かしく、たくましく」を目指して、子どもたちのためにできることを行っていきましょう。